

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営基本方針

環境性能と安全性能の評価技術を確立し、安心・快適な未来社会の実現に貢献

② 中長期の経営戦略

1. 信頼性評価事業の強化

独立系検査会社として幅広い顧客ニーズにワンストップで応えるTotal Quality Solution。自動車電動化・自動運転に向けた試験需要に対応。

3. 販売体制の強化

営業本部内へマーケティング部を設置。熊本営業所開設による九州地区拡大。北海道、東北、中四国への積極的営業展開。既存顧客ニーズ把握と新規市場開拓の両立。

2. 微細加工事業の拡大

車載部品、ヘルスケア、通信分野での拡大。バイオセンサ市場成長に対応。フェムト秒グリーンレーザ加工など特殊工法で高付加価値・小ロット多品種製品の試作から量産へ。

4. 技術力向上と人材育成

部門間横断チームによる事業部門と研究開発部門の連携強化。顧客の多種多様なニーズに対応できる技術陣育成。新たな試験・検査への取組で知見を深める。

③ 対処すべき課題

① 顧客基盤の拡充

- 自動車業界への依存度低減。2025年6月期に半導体業界への拡販で特定顧客依存度低減。
- ヘルスケア業界での試作受注進展。特定業界の売上割合低減を継続課題。

② 設備増強と活用

- パワーエレクトロニクスセンター（堺市西区）新設に伴う設備投資。2025年6月期に実施済み。
- 投資設備の十分な活用と顧客ニーズへの機動的な対応が課題。

③ 人材確保と労働環境整備

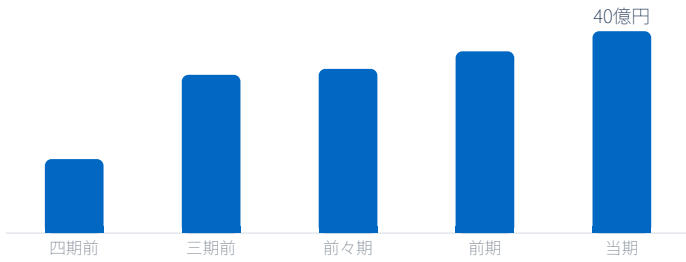
- 優秀な技術者の採用・育成が必要不可欠。採用市場での競争激化に対応。
- 採用技術者の育成と高いモチベーション維持できる労働環境づくり。
- 営業体制強化に向けた人員増強と早期戦力化。

面接で使えるポイント

- 自動車業界のCASE（Connected・Autonomous・Shared・Electric）対応における信頼性評価試...
- パワー半導体・医療機器・二次電池の3分野での確固たるポジション構築を目指す経営方針
- 2025年7月開始のMAPプロジェクトで通信、半導体、医療、航空宇宙、再エネ産業への貢献を実現

証券コード 9165

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）

要するに
株式会社クオルテック事業要約

...

主力事業・セグメント

- ・サービス業（セグメント未開示）

強み・特徴（公開データから）

- ・－（判定に必要な数値が未開示）

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

暗記する数字3つ

連結売上高

－（未開示）

営業利益率

－（未開示）

財務健康度

68点 / 100点

将来性 曇り / 就活偏差値 42.4（当サイト算出の参考指標）

平均年収

506万円

サービス業内 392位/524社

平均年齢

43.4歳

サービス業内 99位/527社

平均勤続

6.4年

サービス業内 274位/527社

女性管理職

4.8%

サービス業内 337位/371社

男性育休

100.0%

サービス業内 79位/311社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は...）

直近ニュース一言

